

# 鶏を健康に育てて卵を生産し消費者に届ける！ ～6次産業化を実現、さらに前に向かって進み続ける～

常滑市 (有) デイリーファーム  
養鶏

【平成 29 年 5 月 29 日掲載】

常滑市において、獣医師の知識を活用しながら養鶏業(採卵)を営み、6次産業化にも取り組む有限会社デイリーファームの市田<sup>ますみ</sup>真新さんをご紹介します。

## 就農のために獣医学を学ぶ

市田さんは祖父の代から養鶏を営む農家に生まれました。父が、雛の育成・販売をする孵化業を開始し(高砂孵化場)成鶏による鶏卵生産との複合経営を行っていました。しかし、孵化業は大変難しく育成中や出荷後の雛の生育が不安定で、大変厳しい経営状況でした。市田さんは、両親が非常に苦労している様子を見て、鶏の健康を守るためには獣医師の知識が必要だと感じ、大学で獣医学を学びました。獣医師免許を取得した後も、家業を手伝いつつ、農林水産省家畜衛生試験場鶏病支場(岐阜県)に通って研修するなど経験を積み、昭和56年に就農しました。



市田<sup>ますみ</sup>真新さん

しかし、高砂孵化場の経営状況は就農前の想像よりも厳しく、昭和62年に獣医師免許を活かした高砂診療所(のちにタカサゴ動物病院)を開業し、犬や猫などペットの病気を診て収入を得るとともに、高砂孵化場の経営を改善する方法を模索しながら無我夢中で働きました。

## デイリーファームの経営

平成3年に古い鶏舎を改築し、これを機に、養鶏業を法人化し、有限会社デイリーファームを設立しました。デイリーファームでは、鶏舎を新しくしただけでは鶏の健康状態は良くなれないと考え、獣医師の知識や感覚をフル活用し、従来のやり方を変えていきました。たとえば、鶏舎の衛生には特に注意を払い、オールインオールアウト(一つの鶏舎に同時期にかえった雛を一緒に入舎し、産卵期を終えると一緒に出舎する)を実現させると同時に、アウト後の水洗、消毒を徹底しました。様々な取組が徐々に功を奏し、平成16年頃には、鶏が健康に育ち、質の良い卵を計画的に採卵できるようになりました。さらに、経営の合理化のため、平成16年に孵化業を終了して養鶏業に専念し、覚悟を決めて猛進しました。その結果、経営規模は、就農時の飼養羽数4万羽、従業員等10名程度から、飼養羽数16万羽、従業員等60名の養鶏場に成長しました。



現在のデイリーファームの鶏舎

## 「あいちの米たまご」の取組で地域振興の足掛かり

鶏は健康に育つようになりましたが、平成 18 年頃から輸入飼料の価格が急激に上昇し、経営を圧迫しました。一方で、地元では、米の需要の低下や休耕田の増加などの課題があり、平成 22 年から、地元の稲作農家と連携して飼料用米の鶏への給餌を開始しました。「飼料用米の生産 飼料用米を鶏に給餌 鶏糞を肥料として使用 飼料用米の生産」という循環型農業の実現により、地域振興に役立てました。

さらに、この取組でできた商品「あいちの米たまご」は、生活協同組合コープあいちや他の量販店にも支持を得て販売されており、消費者にもおいしいと評判を得ています。

## 6 次産業化で直売施設をオープン

「あいちの米たまご」を通じた経験から、「地域振興を進めるためには、取組内容を消費者に PR する空間が必要だ。」と感じるようになりました。また、デイリーファームにおいて日々鶏卵を生産しながら、「卵を生産して売るだけでなく、加工によりさらに消費者に喜んでいただける形にして届けていきたい。」と感じていました。そこで、平成 25 年頃から 6 次産業化に取り組むために準備を始め、平成 26 年に六次産業化・地産地消法に基づく総合事業化計画の認定を受け、平成 27 年、直売施設ココテラスがオープンしました。ココテラスでは、プリンやシュークリームなどのスイーツや、鶏卵などを販売しており、商品開発、商品製造、販売、運営などは息子の旭宏さんにすべて任せています。需要に供給が追いついていないなど課題はありますが、自分たちの生産物を直接売り、消費者の声を聞き、地域の活性化にも貢献できるココテラスの取組は大変やりがいがある様子でした。



ココテラスの店内で撮影。左が旭宏さんと、「消費者に直接売るのは大変だが楽しい」と話してくれました。

## さらに前を向いて進み続ける

ココテラスの事業計画作成時や建設時には大変苦労したそうですが、その苦労を物ともせず、次は、国家戦略特区の取組を利用して農家レストランを作る予定だそうです。その原動力は何かと聞いたところ、「このお店、周りに農地があって、伊勢湾を臨めて、すごく気持ちいいでしょ。卵を生産するだけの農家が、消費者にこんなに気持ちのいい空間を提供できるんだということを示したい。農家は大変だなあじゃなくて、素敵だなあと思ってほしい。若い人が、農家になるために勉強して、努力して、やりたいと思ってもらえる職業にする。それを実現するのが夢。」と答えてくれました。



ココテラスの外観  
(伊勢湾が臨める高台に建っている)

執筆：農業経営課  
取材協力：知多農林水産事務所農業改良普及課